



2025年4月28日

## ポジティブ・インパクト・ファイナンス モニタリングレポート開示について

株式会社あいち銀行（代表取締役頭取 鈴木 武裕）は、2022年7月からポジティブ・インパクト・ファイナンスの取り扱いを開始し、2025年3月末時点で31社のお客さまにご利用いただいております。そのうち、4社のお客さまに対しモニタリングを実施いたしました。

ポジティブ・インパクト金融原則では、透明性の確保と情報開示が求められており、モニタリング結果について開示いたします。

当行はこれからも、お客様の多様化する資金調達ニーズに応え、SDGsの趣旨に賛同するお客さまとともに、持続可能な社会づくりを目指してまいります。

### 記

1.

|           |            |
|-----------|------------|
| 会社名       | 井桁堂株式会社    |
| 当初評価日     | 2023年9月27日 |
| モニタリング基準日 | 2024年6月30日 |

2.

|           |            |
|-----------|------------|
| 会社名       | ワイクリード株式会社 |
| 当初評価日     | 2023年9月29日 |
| モニタリング基準日 | 2024年7月31日 |

3.

|           |             |
|-----------|-------------|
| 会社名       | 加藤精工株式会社    |
| 当初評価日     | 2023年10月31日 |
| モニタリング基準日 | 2024年8月31日  |

4.

|           |              |
|-----------|--------------|
| 会社名       | 株式会社ムゲンエステート |
| 当初評価日     | 2024年12月27日  |
| モニタリング基準日 | 2024年12月31日  |

以上

## ポジティブ・インパクト・ファイナンス モニタリングレポート

### 1. モニタリング対象

|             |            |
|-------------|------------|
| 会社名         | 井桁堂株式会社    |
| モニタリング基準日   | 2024年6月30日 |
| 当初評価日       | 2023年9月27日 |
| 融資・モニタリング期間 | 10年        |

### 2. KPI一覧

|  | KPI  |
|--|--|
| 廃棄物  | ①2030年6月期までに、豊田工場及び日進工場における製造ロスを2022年6月期比20%削減する                         |
| 雇用   | ②あいちファミリーフレンドリー企業の登録(2025年6月期までに登録)                                      |
|  | ③あいち女性輝きカンパニーの認証取得(2025年6月期までに取得)  |
|  | ④ホワイト企業認定の取得(2025年6月期までに取得)  |
| 食料<br>健康・衛生<br>雇用<br>人格と人の安全保障<br>生物多様性と生態系サービス<br>包括的で健全な経済 | ⑤サステナブルチョコレートを使用した商品の販売数量の増加<br>(2024年6月期の販売数量目標を2万個とし、每期前期比10%の販売数量アップ) |
|  | ⑥サステナブル商品のラインナップの拡充(2030年6月期までにサステナブルチョコレートの商品を5アイテム発売する)                |

### 3. 達成状況チャート(全体)



### 4. KPIモニタリング結果(詳細)

#### (1) フードロスの削減に向けた取り組み

|          |   |     |     |
|----------|---|-----|-----|
| 対応方針     | ①フードロスの削減   |     |     |
| KPI・目標   | ①2030年6月期までに、豊田工場及び日進工場における製造ロスを2022年6月期比20%削減する                              |     |     |
| 2023年度実績 | ①製造ロス率 4.45%<br>(2022/6期 実績 3.82%)  | 達成率 | ①-% |
| コメント     | ①受注増加対応による生産効率向上に重点を置いたため、ロス率は増加。今後、製造ライン増設と自動化促進による生産性向上による余力をフードロス削減へ振り向ける。 |     |     |

#### (2) 全ての従業員が働きやすい環境づくり

|        |   |
|--------|---|
| 対応方針   | ②③④働きやすい職場環境をつくるための社内体制整備   |
| KPI・目標 | ②あいちファミリーフレンドリー企業の登録<br>(2025年6月期までに登録)<br>③あいち女性輝きカンパニーの認証取得<br>(2025年6月期までに取得)<br>④ホワイト企業認定の取得(2025年6月期までに取得) |

|               |   |     |                         |
|---------------|---|-----|-------------------------|
| 2023 年度<br>実績 | ②登録済<br>③登録済<br>④取得済  | 達成率 | ②100%<br>③100%<br>④100% |
| コメント          | <p>②行動計画の目標(2026 年 7 月 31 日まで)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画期間内に 1 回、育児休暇制度の理解を進めるための説明会を実施する。→未実施</li> <li>・計画期間内に 1 回、男性社員向けの育パパ研修を実施する。→実施済み</li> </ul> <p>③宣言内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会社における女性社員のリーダー以上の登用人数の向上を目指します。→係長 2 名、主任 1 名、リーダー 6 名</li> <li>・子育て、家族の介護等、ライフスタイルに合わせたより柔軟な働き方を可能にするため「在宅勤務制度」及び弊社独自の勤務体制である「始業・終業時刻の柔軟化制度」を実施します。→制度として導入予定</li> <li>・男女共同参画の実現に向けた社内での啓蒙活動として、ダイバーシティ研修、イクメン研修を実施します。→実施済み</li> </ul> <p>④有給休暇取得の促進</p> |     |                         |

(3) サステナブル商品の販売拡大を通じた課題解決の取り組み

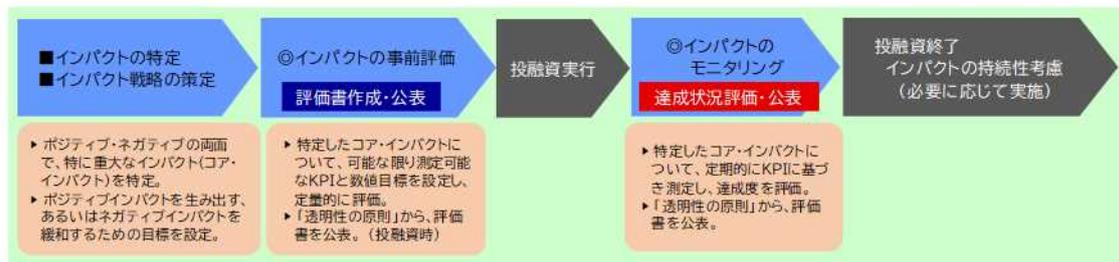
|               |  |     |              |
|---------------|--|-----|--------------|
| 対応方針          | ⑤⑥サステナブル商品の販売拡大  |     |              |
| KPI・目標        | <p>⑤サステナブルチョコレートを使用した商品の販売数量の増加(2024 年 6 月期の販売数量目標を 2 万個とし、每期前期比 10%の販売量アップ)</p> <p>⑥サステナブル商品のラインナップの拡充(2030 年 6 月期までにサステナブルチョコレートの商品を 5 アイテム発売する)</p> |     |              |
| 2023 年度<br>実績 | ⑤販売個数 16,073 個(販売開始が<br>2023 年 9 月のため 10 ヶ月実績)<br>⑥パ・オ・シヨコラ 1 アイテム   | 達成率 | ⑤80%<br>⑥20% |
| コメント          | <p>⑤カカオの不作による世界的な価格高騰から収益性を加味して生産を抑制したため目標未達となった。</p> <p>⑥目標に到達するように新商品の企画は常に進行中。</p>  |     |              |

以上

## 【ポジティブ・インパクト・ファイナンス】

国際的な金融原則の枠組みに沿った融資商品で、お客さまの企業活動が環境・社会・経済に及ぼす影響を包括的に分析・評価（以下、「インパクト評価」）します。インパクト評価により特定されたポジティブな影響の増大とネガティブな影響の低減に向けた取り組みに対して目標（以下、「KPI」）を設定し、モニタリングを実施することで、当該取り組みを継続的に支援いたします。本商品では当行がインパクト評価とモニタリングを実施します（※1）。

（※1）当行のポジティブ・インパクト・ファイナンス実施体系は、株式会社格付投資情報センター（R&I）より、国連環境計画・金融イニシアティブ（UNEP FI）が制定したポジティブ・インパクト金融原則（PIF原則）への適合についてセカンドオピニオンを取得しています。



## ポジティブ・インパクト・ファイナンス モニタリングレポート

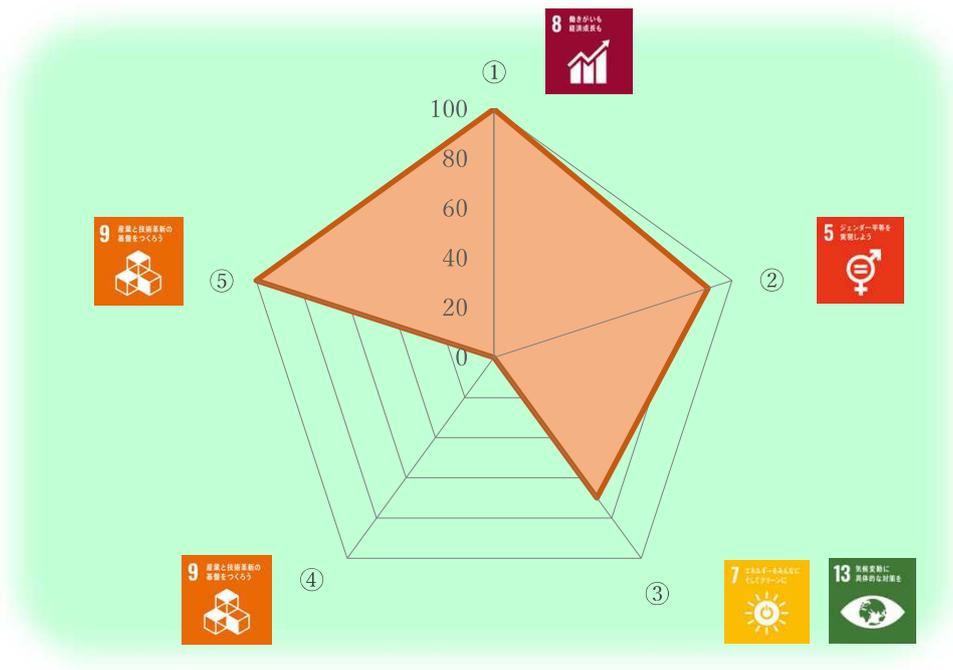
### 1. モニタリング対象

|             |            |
|-------------|------------|
| 会社名         | ワイクリード株式会社 |
| モニタリング基準日   | 2024年7月31日 |
| 当初評価日       | 2023年9月29日 |
| 融資・モニタリング期間 | 7年         |

### 2. KPI一覧

|                  | KPI  |
|------------------|--|
| 雇用               | ①健康経営優良法人の継続認定取得                               |
|                  | ②2030年7月期までに女性従業員比率を50%以上に<br>する(2023年7月期:43%) |
| 気候               | ③2030年7月期のCO2排出量を2019年7月期で<br>50%以内とする         |
| 移手段<br>包括的で健全な経済 | ④毎期売上高を前期比5%以上増加させる                            |
|                  | ⑤工程内不良率を0.5%未満にする                              |

### 3. 達成状況チャート(全体)



#### 4. KPIモニタリング結果(詳細)

##### (1) 平等な職場環境づくりと従業員の健康増進

|          |  |     |               |
|----------|--|-----|---------------|
| 対応方針     | ①②従業員の健康増進と女性従業員の活躍促進  |     |               |
| KPI・目標   | ①健康経営優良法人の継続認定取得<br>②2030年7月期までに女性従業員比率を50%以上にする<br>(2023年7月期:43%)   |     |               |
| 2024年度実績 | ①継続認定を取得<br>②2024年7月末における女性従業員比率は45%   | 達成率 | ①100%<br>②90% |
| コメント     | ①継続認定の為に必須項目(健康診断受診、残業時間低減、有給休暇取得促進など)は確実にクリアできており、「健康経営優良法人2025」の認定申請も完了している。<br>②2024年4月に新卒者として男性1名に対し、女性2名を採用したことにより女性従業員比率は上昇。 |     |               |

##### (2) カーボンニュートラルへの取り組み

|          |  |     |      |
|----------|--|-----|------|
| 対応方針     | ③使用電力削減によりCO2排出量の抑制                                |     |      |
| KPI・目標   | ③2030年7月期のCO2排出量を2019年7月期対比にて50%以内とする。             |     |      |
| 2024年度実績 | ③CO2排出量2019年度比85%                                  | 達成率 | ③70% |
| コメント     | ③CO2排出量は受注量に大きく左右される側面があるも、原単位でのCO2排出量削減は着実に出来ている。 |     |      |

##### (3) 製品供給を通じた経済への貢献

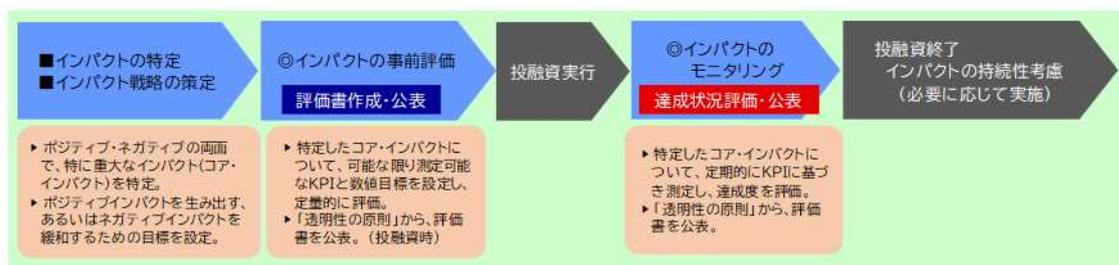
|          |  |     |               |
|----------|--|-----|---------------|
| 対応方針     | ④⑤当社製品の供給量拡大と不良製品の発生減少   |     |               |
| KPI・目標   | ④毎期売上高を前期比5%以上増加させる<br>⑤工程内不良率を0.5%未満にする   |     |               |
| 2024年度実績 | ④売上高は前年度対比99.8%<br>⑤工程内不良率は0.17%   | 達成率 | ④- %<br>⑤100% |
| コメント     | ④自動車業界での認証不正などの問題が影響し、売上高は前年度対比にて微減した。<br>⑤「工程内不良低減委員会」を毎月実施し、各工程における不良の発生状況の検証を行い、早期に改善に取り組むことで不良製品の発生抑制が出来ている。 |     |               |

以上

## 【ポジティブ・インパクト・ファイナンス】

国際的な金融原則の枠組みに沿った融資商品で、お客さまの企業活動が環境・社会・経済に及ぼす影響を包括的に分析・評価（以下、「インパクト評価」）します。インパクト評価により特定されたポジティブな影響の増大とネガティブな影響の低減に向けた取り組みに対して目標（以下、「KPI」）を設定し、モニタリングを実施することで、当該取り組みを継続的に支援いたします。本商品では当行がインパクト評価とモニタリングを実施します（※1）。

（※1）当行のポジティブ・インパクト・ファイナンス実施体系は、株式会社格付投資情報センター（R&I）より、国連環境計画・金融イニシアティブ（UNEP FI）が制定したポジティブ・インパクト金融原則（PIF原則）への適合についてセカンドオピニオンを取得しています。



## ポジティブ・インパクト・ファイナンス モニタリングレポート

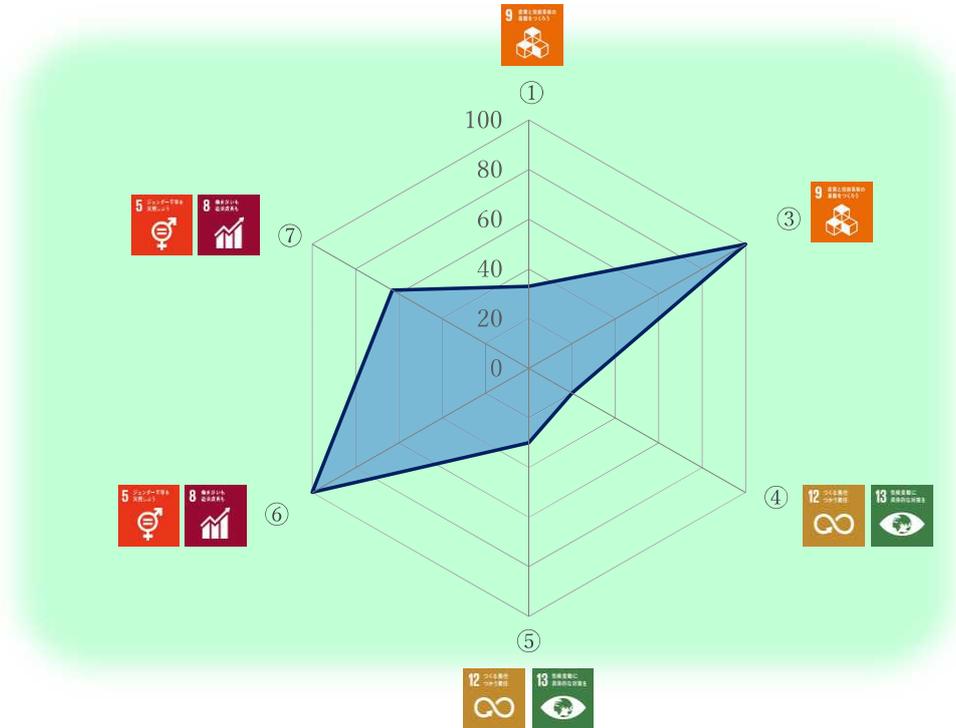
### 1. モニタリング対象

|             |             |
|-------------|-------------|
| 会社名         | 加藤精工株式会社    |
| モニタリング基準日   | 2024年8月31日  |
| 当初評価日       | 2023年10月31日 |
| 融資・モニタリング期間 | 10年         |

### 2. KPI一覧

|                       | KPI  |
|-----------------------|--|
| 移動手段<br>包括的で<br>健全な経済 | ①2030年度までに新規顧客3件獲得   |
|                       | ②ISO9001の継続認定と、2030年度までに品質不具合年間0件を実現                                     |
| 気候<br>廃棄物             | ③ISO14001の継続認定   |
|                       | ④循環型社会を目指し、事業活動からの廃棄物量を2030年度に50%削減(2021年度比)                             |
| 雇用                    | ⑤CO2排出量を2030年度に50%削減(2013年度比)  |
|                       | ⑥男女問わず、2030年度までに育休取得率100%  |
|                       | ⑦2030年度までにタブレット導入率100%<br>(豊田工場からスモールスタートし、作業日報のペーパーレス化、作業要領書のデジタル化を目指す) |

### 3. 達成状況チャート(全体)



※KPIのうち「品質不具合年間0件を実現」についてはグラフ化困難なため上記チャートから除外している

### 4. KPIモニタリング結果(詳細)

#### (1) 持続的成長のための基盤構築

|          |  |     |              |
|----------|--|-----|--------------|
| 対応方針     | ①お客様に喜ばれる商品を創造するとともに、豊かな社会に貢献する<br>②品質管理の継続維持  |     |              |
| KPI・目標   | ①2030年度までに新規顧客3件獲得<br>②ISO9001の継続認定と、2030年度までに品質不具合年間0件を実現                                       |     |              |
| 2024年度実績 | ①1件<br>②ISO9001は継続済み。不具合については昨年比で減少しつつある   | 達成率 | ①33%<br>②未達成 |
| コメント     | ①2024年度は新規顧客を一件開拓。引き続き当社特性を生かして幅広い業種・地域の顧客開拓に努めていく方針。<br>②ISO9001は2024年度も継続認定。不具合は各工場で減少しつつある状況。 |     |              |

## (2)環境に配慮した取り組みの推進

|           |   |     |                       |
|-----------|---|-----|-----------------------|
| 対応方針      | ③④環境負荷の低減<br>⑤製造過程の見直し及び再エネ・省エネ設備導入によるCO <sub>2</sub> 排出量の削減  |     |                       |
| KPI・目標    | ③ISO14001 の継続認定<br>④循環型社会を目指し、事業活動からの廃棄物量を 2030 年度に 50%削減(2021 年度比)<br>⑤CO <sub>2</sub> 排出量を 2030 年度に 50%削減(2013 年度比)                                   |     |                       |
| 2024 年度実績 | ③継続認定済み<br>④10%の削減<br>⑤15%の削減   | 達成率 | ③100%<br>④20%<br>⑤30% |
| コメント      | ③ISO に関しては 9001 と共に每期継続認定に努めていく。<br>④初年度は 10%の削減に成功。今後も事業活動の中で廃棄物削減を社内テーマに掲げ活動していく。<br>⑤カーボンニュートラルについては業界内でも取組がマストとなりつつある。初年度は 15%の削減ができたため翌年以降も強化していく。 |     |                       |

## (3)働きやすい労働環境づくり

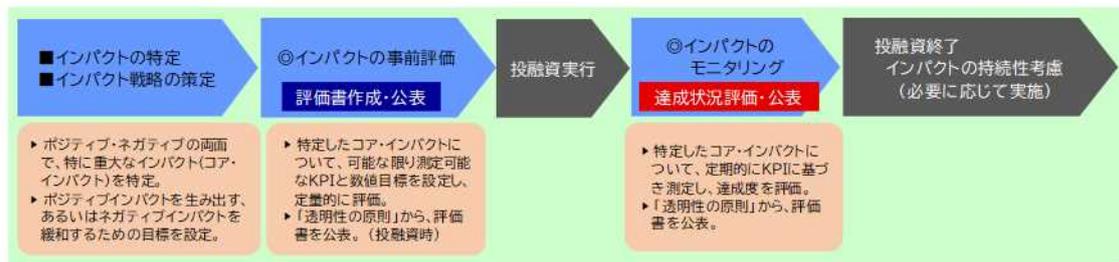
|           |   |     |               |
|-----------|---|-----|---------------|
| 対応方針      | ⑥すべての人が働きやすい労働環境づくり<br>⑦DX の推進による業務効率化  |     |               |
| KPI・目標    | ⑥男女問わず、2030 年度までに育休取得率 100%<br>⑦2030 年度までにタブレット導入率 100%<br>(豊田工場からスモールスタートし、作業日報のペーパーレス化、作業要領書のデジタル化を目指す) |     |               |
| 2024 年度実績 | ⑥100%<br>⑦導入率 63%   | 達成率 | ⑥100%<br>⑦63% |
| コメント      | ⑥育休取得率は 100%を達成。社員のワークライフバランスを第一に今後も福利厚生に力を入れていく方針。<br>⑦豊田工場を皮切りにタブレット端末の導入を進め、業務効率化に努めていく。               |     |               |

以上

## 【ポジティブ・インパクト・ファイナンス】

国際的な金融原則の枠組みに沿った融資商品で、お客さまの企業活動が環境・社会・経済に及ぼす影響を包括的に分析・評価（以下、「インパクト評価」）します。インパクト評価により特定されたポジティブな影響の増大とネガティブな影響の低減に向けた取り組みに対して目標（以下、「KPI」）を設定し、モニタリングを実施することで、当該取り組みを継続的に支援いたします。本商品では当行がインパクト評価とモニタリングを実施します（※1）。

（※1）当行のポジティブ・インパクト・ファイナンス実施体系は、株式会社格付投資情報センター（R&I）より、国連環境計画・金融イニシアティブ（UNEP FI）が制定したポジティブ・インパクト金融原則（PIF原則）への適合についてセカンドオピニオンを取得しています。



## ポジティブ・インパクト・ファイナンス モニタリングレポート

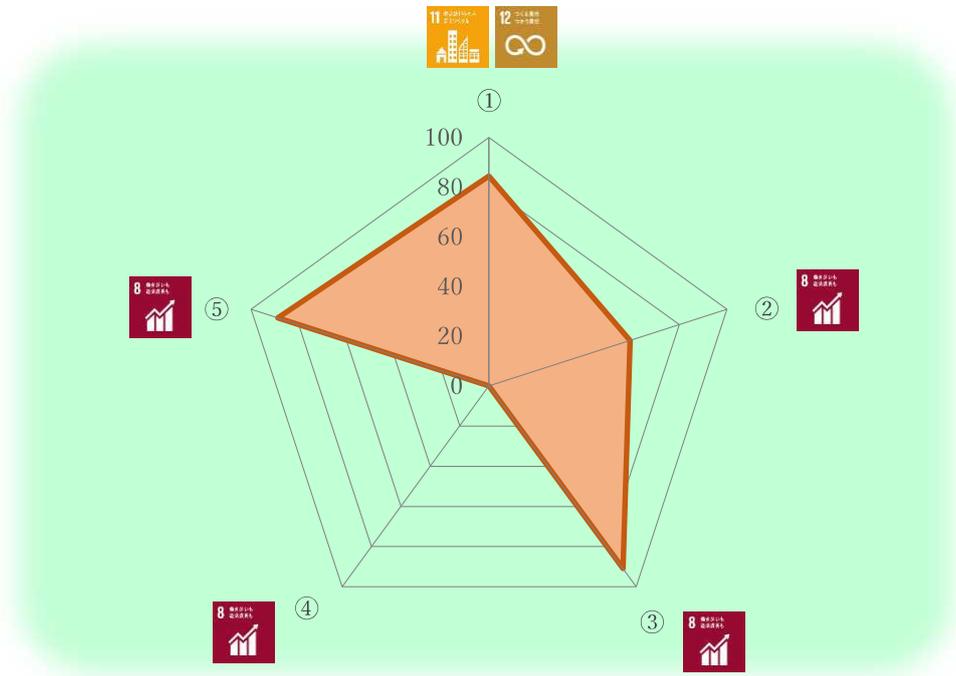
### 1. モニタリング対象

|             |              |
|-------------|--------------|
| 会社名         | 株式会社ムゲンエステート |
| モニタリング基準日   | 2024年12月31日  |
| 当初評価日       | 2024年12月27日  |
| 融資・モニタリング期間 | 10年          |

### 2. KPI一覧

|                     | KPI   |
|---------------------|---|
| 住居、<br>資源効率・<br>安全性 | ①2029年度までに節水、節電 効果の高い設備を活用したリフォーム件数<br>540件／年を実現する<br>(2023年度までの4ヶ年平均実績 336件／年)         |
| 雇用                  | ②2029年度までに専門性の深化やマネージメント力、営業力、従業員エンゲージメントの向上等に資する年間教育投資額を 2,700万円に高める<br>(2023年度 600万円) |
|                     | ③2029年度までに管理職の有給取得率を 80%以上とする<br>(2023年度までの4か年平均実績 69.9%)                               |
|                     | ④2025年度までに「プラチナくるみん」認定を取得する   |
|                     | ⑤2029年度までに男性従業員の育児休業取得率を 50%以上とする<br>(2023年度までの4か年平均実績 44.4%)                           |

### 3. 達成状況チャート(全体)



### 4. KPIモニタリング結果(詳細)

#### (1) 環境負荷低減に向けた中古不動産再生の推進

|          |  |     |       |
|----------|--|-----|-------|
| 対応方針     | ① 節水型トイレや保温効果の高い浴槽への交換等、環境に配慮した設備による中古不動産のリフォームの推進                             |     |       |
| KPI・目標   | ① 2029年度までに節水、節電効果の高い設備を活用したリフォーム件数 540 件/年を実現する<br>(2023年度までの4ヶ年平均実績 336 件/年) |     |       |
| 2024年度実績 | ① 456 件  | 達成率 | ① 84% |
| コメント     | ① 毎年度環境に配慮したリフォーム件数は増加。省エネ設備は入居者のランニングコストを抑えることもできるため引き続き推進をしていく。              |     |       |

(2) 従業員の成長と働きがいの向上

|          |   |     |      |
|----------|---|-----|------|
| 対応方針     | ②サステナブル経営を実現する経営幹部候補育成のための「経営幹部育成研修」や女性管理職候補育成のための「女性リーダー育成プログラム」などを実施                  |     |      |
| KPI・目標   | ②2029年度までに専門性の深化やマネジメント力、営業力、従業員エンゲージメントの向上等に資する年間教育投資額を 2,700 万円に高める<br>(2023年度 600万円) |     |      |
| 2024年度実績 | ②1,600万円  | 達成率 | ②59% |
| コメント     | ②前年度比増加要因は、受講者数の増加による。女性従業員を対象としたキャリア研修、リーダーシップ研修の継続実施等、女性が能力を十分に発揮できるようなキャリア支援を継続。     |     |      |

(3) 仕事と暮らしの調和がとれた働きやすい職場づくり

|          |   |     |                      |
|----------|---|-----|----------------------|
| 対応方針     | ③業務負荷の高い管理職の健康維持及び心身のリフレッシュ<br>④仕事と子育ての両立支援に向けた環境整備<br>⑤育児休業に対する理解促進のための社内啓蒙や社内研修の実施  |     |                      |
| KPI・目標   | ③2029年度までに管理職の有給取得率を 80%以上とする<br>(2023年度までの4か年平均実績 69.9%)<br>④2025年度までに「プラチナくるみん」認定を取得する<br>⑤2029年度までに男性従業員の育児休業取得率を 50%以上とする<br>(2023年度までの4か年平均実績 44.4%) |     |                      |
| 2024年度実績 | ③72.8%<br>④未取得<br>⑤44.4%  | 達成率 | ③91%<br>④未達成<br>⑤89% |
| コメント     | ③2025年度には 80%以上を達成できるよう有休を取得しやすい職場環境づくりに努める。<br>④労働局へ申請中。2025年度取得見込み。<br>⑤「子育てサポート企業」としてワークライフバランスの向上を目指す。  |     |                      |

以上

## 【ポジティブ・インパクト・ファイナンス】

国際的な金融原則の枠組みに沿った融資商品で、お客さまの企業活動が環境・社会・経済に及ぼす影響を包括的に分析・評価（以下、「インパクト評価」）します。インパクト評価により特定されたポジティブな影響の増大とネガティブな影響の低減に向けた取り組みに対して目標（以下、「KPI」）を設定し、モニタリングを実施することで、当該取り組みを継続的に支援いたします。本商品では当行がインパクト評価とモニタリングを実施します（※1）。

（※1）当行のポジティブ・インパクト・ファイナンス実施体系は、株式会社格付投資情報センター（R&I）より、国連環境計画・金融イニシアティブ（UNEP FI）が制定したポジティブ・インパクト金融原則（PIF原則）への適合についてセカンドオピニオンを取得しています。

